

10月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ 摘芯

収穫後の秋から冬にかけては、来年の春に向けて樹が養分を蓄える時期のため、枝が秋に伸びて養分を消費しないように、余分な枝を切り落とした。

葉が落葉し始めていて、休眠の準備を始めているのが目で見てわかり、これから寒くなって冬が始まることを作業しながら実感した。



■ 雨除けハウスのビニール剥がし

畑によっては100m程もある長さのビニールを一人で引っ張って剥がしたので、腕が痛くなってとても大変な作業だった。雨除け栽培のビニールは2年ごとに張り替えるため、研修先では4箇所ある雨除けハウスの2箇所ずつを毎年交互に張り替えを行っている。この作業を一人でやるのは大変なので、自分が就農したら近所の農家さんたちと協力して、各圃場を回りながらできたらいいと思う。



活動を行った感想など

草刈機などの機械を使うことが多いが、機械の調子が悪い時に何が原因かわからなくて困ることがあるため、機械の知識も身につけて、簡単なメンテナンスくらいは自分でできるようにしたい。

普段写真を撮る習慣があまりなく、活動報告やSNS用の写真をいつも撮り忘れてしまうので、情報発信や自己PRすることも意識して積極的に写真を撮るように気をつける。

今後の目標など

土地探しを本格的に始めた。この冬の間に畑を見つけて、早く自分で栽培できるようにしたい。また、来月から剪定が始まるが、長梢剪定をしたことがないので、やり方をしっかり学びたい。